

# 子どもサポートノート

## Ⅲ 使用方法

### (1) お子さんの成長過程や生活の記録を残していきましょう。

#### ①こんな時に書いて、ファイルに綴っていきましょう。

ア誕生日や記念日等

イ各種健診や就園・就学・進級等

ウ子育て支援施設や保育園、小中学校等から日頃の様子を聞いた時等

#### ②こんな事を記録しましょう。

ア成長過程の様子や気付いた事

イ保育園や学校での様子

ウ医療・相談機関での受診結果や相談内容等

#### ③こんな物を保存しましょう。

ア子育て支援施設や保育園、小中学校等からの配布物

イ医療・相談機関での受診結果や相談内容等

ウ「母子手帳」や「健康ノート」など子育てに関する情報

### (2) 家庭と各関係機関との情報の共有化について

各医療機関で受診する際には、お子さんの発達状況等、また、就園・就学・進級等には、それまでのお子さんの様子等を各担当者から尋ねられますが、保護者が担当者に正しく伝えることで、お子さんが新しい環境でスムーズなスタートを切ることができます。

そこで、各関係機関の担当者の方々とお子さんの記録や情報を共有する際、「母子手帳」や「相談や訪問等の記録」等と併せて提示しましょう。

### (3) 受診や相談・支援記録の保存の必要性について

この「子どもサポートノート」への記録は、災害時等において、子ども

が緊張のあまり、言葉が話せない状況下にあっても、その子どもの状況を適切に把握することができ、対応の仕方を見出す上でも、大変有効になります。

また、将来、仮に「障がい年金」などの受給の際に、この「子どもサポートノート」への記録が大切になってきますので、可能な限り記録を残しご活用ください。